

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 関西国際空港連絡南ルート早期実現の活動推進	② 施策番号	1308
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	9 関西国際空港を中心とした広域ネットワークの構築		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	政策推進課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	国、府及び関西国際空港運営者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	関空南ルート実現に向けた機運を醸成し高める。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	依然として関西国際空港の二期事業推進については運営権者にゆだねられる等、行政のかかわりは薄いと言えるが、近年の関空の活況を受け、新幹線を関空に接続しようという動きもみられ、徐々にではあるが前進しつつある。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	要望活動の回数	回	巨額経費を要する構想であるため、国、府及び関空といった組織に対する要望活動を継続し、機運の醸成を図ることが先ず必要のため。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	要望活動の回数	回	目標値	2	2	2	2	2	H28～近畿整備局要望を追加。
			実績値	2	2	2	—	—	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	空港関係調整事業	要望・申し入れ回数	件	4	4	4	3,101	3,122	4,121	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						3,101	3,122	4,121			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	関西国際空港から泉南地域に新たなルートを開けることは、地域の活性化を大きく前進させることは明らか。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	要望活動が徐々に拡大している。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	現時点では、市が率先して取組を進める必要があり、適切。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	現時点では、適切。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	関空の活況や、災害対策など国土強靱化といった動きが強まっている状況を踏まえ、今の活動をより拡大することが効果的と考える。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	C	社会情勢や国の財政状況等を的確に把握しつつ、他の紀淡連絡道路の実現要望や京奈和道路の完全竣工要望などと連携し、より活動が効果的となるよう取り組む必要がある。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	コストをかけずに要望活動を進めるため、効果的な取組を検討し、進める。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	一般市民を含め南ルートの必要性を周知・啓発していくため、効果的な取組を検討し、進める。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	近い将来「南ルート」を実現する際のイメージ、想定される工法の検討等、一般市民にも判り易く、かつ実現可能な手法の立案とそれに必要なコスト試算を行う必要がある。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	C	関係各所への要望を継続するとともに、必要性や取組について周知・啓発を積極的に進めることにより、市民をはじめとする多くの方々の機運が醸成されるよう取組を展開されたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある